研究構想図

基礎研究　先行研究　研究構想

・東京都教育ビジョン
・豊島区教育ビジョン 2015
・オリンピック・パラリンピック教育
・アクティブライフ研究実践校
・朋有小学校「児童の健やかな心と体を育むプログラム」10 の取組

＜学校教育目標＞
・にっこりあいさつ
・はっきりすてきなことば
・やる気いっぱい心ひとつに

＜児童の実態と育てたい力＞
ISS 認証校として日常のけがの防止に努めているが、児童が健康に関心をもち、進んで運動する意識は高くない。児童が心や体の健康問題に気付き、解決するために進んで運動する力を育みたい。

＜学習指導要領の理解＞
「運動に親しむ資質や能力の育成」
・「健康の保持増進」・「体力向上」
３つの具体的目標を関連付ける。

児童が主体的に運動し学習する喜びを分かち合う力をもつ

＜体力テストによる実態＞
体力テストの結果から

＜目指す児童像＞　〇笑顔ではっきりと自分を表現できる健やかな心と体をもつ児童
低　　自分の健康に関心をもち、いきいきと生活する児童
中　　自分の健康への課題を見付け、解決方法を考え、表現する児童
高　　自分や他者の健康への課題を見付け、解決方法を考え、互いに表現し合う児童
竹の子　自分の生活をふりかえり、元気に生活する児童

＜研究主題＞　　「健やかな心と体をもつ児童の育成」
ー児童自らが健康課題に関心をもち、アクティブライフを実現するための学習・活動の工夫ー

＜研究仮説＞
仲間と豊かなかかわりをもって積極的に学習・活動すれば、自分の健康課題に関心をもち、アクティブライフと体力向上を図ることができる。

調査研究　意識調査　授業研究　評価

＜研究のねらい＞
〇仲間と豊かにかかわり学習・活動の楽しさ、喜びを共感しながら、健康課題に関心をもつ。
〇アクティブライフの実現と体力向上を図る。

＜研究内容＞
【調査研究】・体力テストの結果分析。「運動・健康に関するアンケート」を作成・実施し、検証
授業前の児童の実態、後の児童の意識の変容を把握する。
【実践研究】・仲間と協力して豊かなかかわりをもたせながら、健康課題を達成させるためにどのような指導の工夫をすれば良いか。（学習過程の工夫）
・アクティブライフに繋がるよりよい態度を育むためには、どのような指導の工夫をすれば良いか。（態度）
・子供の姿をどのように評価するのか。（評価）

〈1 学期〉
・研究計画の作成（発表に向けて）
・研究内容の検討
・授業実践　・実技研修

〈2 学期〉
・授業実践
・東京都アクティブライフ研究実践校研究発表
・実技研修

〈3 学期〉
・授業実践
・実技研修
・研究のまとめ

朋有小の児童の変容　　教師の授業力向上　　保護者・地域の信頼